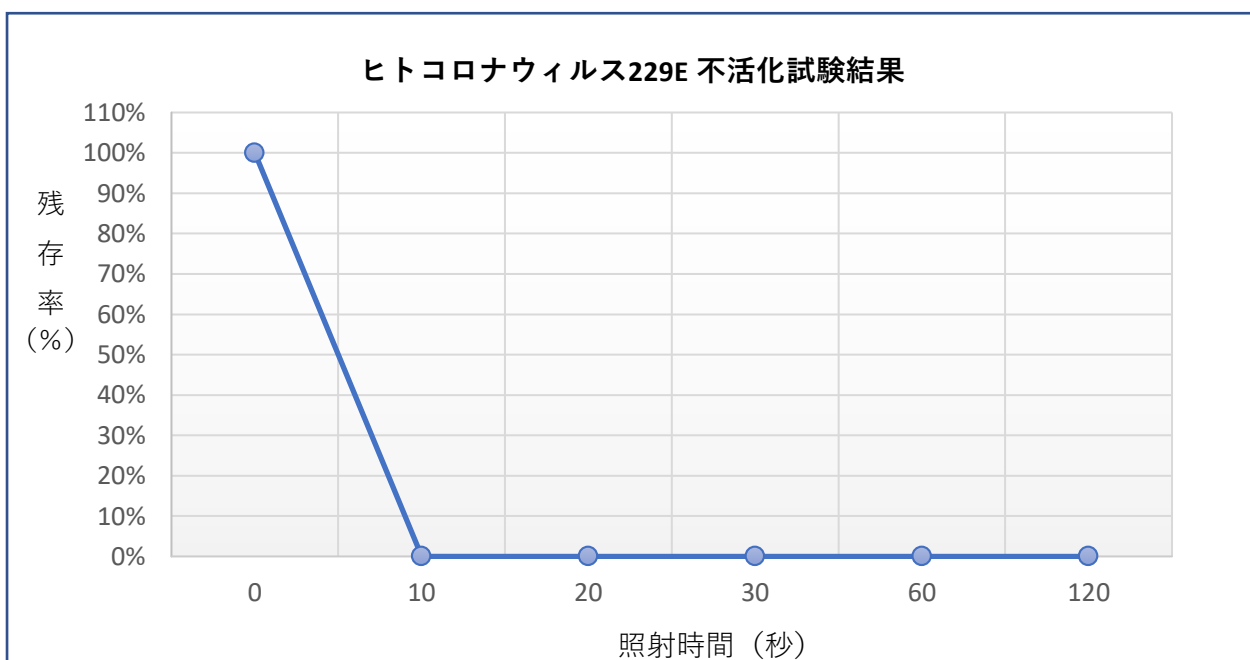


## ヒトコロナウイルス (HCoV-229E) への深紫外線照射効果試験

- 実施日： 2020年6月26日
- 実施機関： 特定非営利法人バイオメディカルサイエンス研究会
- 使用光源： 豊田合成 (株) 深紫外LED光源モジュール
- 使用ウイルス： Human Coronavirus 229E(ATCC VR-740)
- 使用細胞： MRC-5 Lung Fibroblast (ATCC 171)
- 試験方法：
  1. 検体の作成  
ウイルス液を塗布した規定のプレートに準備
  2. 本試験  
深紫外光を安全キャビネットの中で、検体に照射 (照射距離50mm)  
照射直後、細胞接触試験を行い、6日後の培養上清ウイルス量を測定
- 試験結果： 深紫外線照射により、TCID<sub>50</sub>は10<sup>4</sup>以上低下し、**10秒以内の不活化を確認**



水準	時間 (秒)	TCID <sub>50</sub> /ml換算値	残存率 (%)
280nm@350mA 中心照度：2.6 mW/cm <sup>2</sup> (距離50mm)	0	7.9x10 <sup>5</sup>	100.0000%
	10	1.4x10 <sup>1</sup>	0.0018%
	20	4.5x10 <sup>1</sup>	0.0057%
	30	7.9x10 <sup>1</sup>	0.0100%
	60	4.5x10 <sup>1</sup>	0.0057%
	120	4.5x10 <sup>1</sup>	0.0057%

検出限界以下

### ■試験実施の様子：

